

# 中山間地域の総合整備による事業効果

## 中山間地域総合整備事業の概要

中山間地域は、地形条件等が厳しく農地の集積及び経営規模拡大に制約があるため、それぞれの地域の条件に即して、農業生産基盤と農村生活環境等の整備を総合的に実施し、農業・農村の活性化を図ります。

### ●整備のイメージ



### 急峻な地形に合わせたぼ場整備 西郷地区(美郷町)



### 農道整備

#### 整備前



深い轍ができ農業用車両の走行も危険な状況



#### 整備後



路面が整備され安全な走行が可能となる

[ 天岩戸地区(高千穂町) ]

### 営農飲雑用水施設整備

#### 整備前



水源は湧水に頼っており、生活スタイルの変化等により水不足が発生



#### 整備後



安定した水量が得られ畜産や防除用水としても活用

[ 天岩戸地区(高千穂町) ]



## 農地造成による新たな営農の展開

### ～諸塚地区の事例～

諸塚地区（諸塚村）では2.6haの農用地を造成しました。Uターン等による新規就農者6名が入植し、高冷地の気候を生かした、ほうれん草、ミニトマト、スイートピーなどの生産に取り組んでいます。



造成された農用地には耐候性のビニルハウスが建てられ施設園芸が営まれている

## 世代を超えた集落活動の取組

### ～霧島地区の事例～

霧島地区（えびの市）は県内で初めて県営の中山間地域総合整備事業を実施しました。悲願であったほ場整備などの基盤整備に取り組んだ田代自治会は、高齢化の進行に対応する農作業受託組織の設立や世代を超えた若手農業者へのサポートなどの取組が認められ、平成25年度農林水産祭の「むらづくり部門」において、栄誉ある「**天皇杯**」を受賞しました。



世代を超えた取組が認められ栄誉ある天皇杯を受賞



地域の農業を支える陣の池とその水源となり美しい景観を誇る小池



水への感謝を表すシンボルは住民の手作りによるもの



長く途絶えていた夏祭りが、若者たちにより「ひまわりロードまつり」として復活



用水が安定供給され、ピーマンやイチゴなどの施設園芸も盛ん